

再評価結果（平成16年度事業中止箇所）

担当課：北海道開発局建設部道路計画課
担当課長名：高松 泰

事業名：一般道道 増毛当別線	事業区分：地方道	事業主体：国土交通省 北海道開発局	
起終点：自：北海道増毛郡増毛町大字倉熊村字信砂御料 至：北海道石狩郡当別町字青山奥	延長	29.6km	
<p>要事業概：増毛当別線は、増毛町から当別線に至る延長約30kmの一般道道であり、全区間が開発道路に指定されている。本路線の整備により、留萌地域と石狩地域を結ぶ短絡ルートが形成され、農林水産品の流通支援、地域プロジェクト支援、観光アクセス向上等に寄与する。</p>			
H6年度事業化	H - 年度都市計画決定	H6年度用地着手	
全体事業費	約390億円	事業進捗率	
計画交通量	670台/日	供用済延長	
費用対効果分析結果	B / C : (事業全体) 0.6 (残事業) 0.6	総費用 : (残事業)/(事業全体) 196/201億円 事業費 : 184/190億円 維持管理費 : 11/ 11億円	総便益 : (残事業)/(事業全体) 119/119億円 走行時間短縮便益 : 112/112億円 走行費用減少便益 : 6/ 6億円 交通事故減少便益 : 2/ 2億円
感度分析の結果	事業全体について感度分析を実施 交通量変動 : B/C=0.6 (交通量+10%) B/C=0.5 (交通量-10%) 事業費変動 : B/C=0.5 (事業費+10%) B/C=0.7 (事業費-10%) 事業期間変動 : B/C=0.5 (事業期間+20%) B/C=0.7 (事業期間-20%)		
事業の効果等	・国土・地域ネットワークの構築（現道等における交通不能区間を解消する） ・物流効率化の支援（農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる）		
関係する地方公共団体等の意見	沿線自治体からは、路線の整備要望が出されていたが、事業の厳しい情勢に一定の理解が示されている。また、北海道からは「当路線の事業執行上の課題及び現在の事業進捗状況等を勘案すると事業の中止もやむを得ない」旨の意見が出されている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・平成5年に主要道道滝川浜益線が国道451号に昇格している。 ・平成15年度までに深川留萌自動車道深川西IC～沼田IC間が供用している。		
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在までの事業進捗率は3%となっている。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	急峻な山岳地帯を貫く新設路線であること、全域が地すべり地帯であること、豪雪地域であり工事期間が限定されること等を勘案すると全線供用は平成30年代前半以降となることが予想される。		
施設の構造や工法の変更等	1.5車線の整備を実施しても、他の路線に比べ走行速度が低下するため便益の増加は望めず、有効なネットワーク形成とはならない。		
対応方針	事業中止 今後、本路線周辺の道路ネットワーク機能の充実に係る検討を進める。		
対応方針決定の理由	事業の投資効果、事業の進捗の見込み、代替案立案の可能性及び関係地方公共団体等の意見を総合的に判断した。		
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。